

## 港湾岸壁改良工事 — 永久アンカー工法 —



(上記写真：鋼線建込み状況)

本工事は、築造後50年余り経過した岸壁が、経年変化による劣化が調査結果で確認されました。

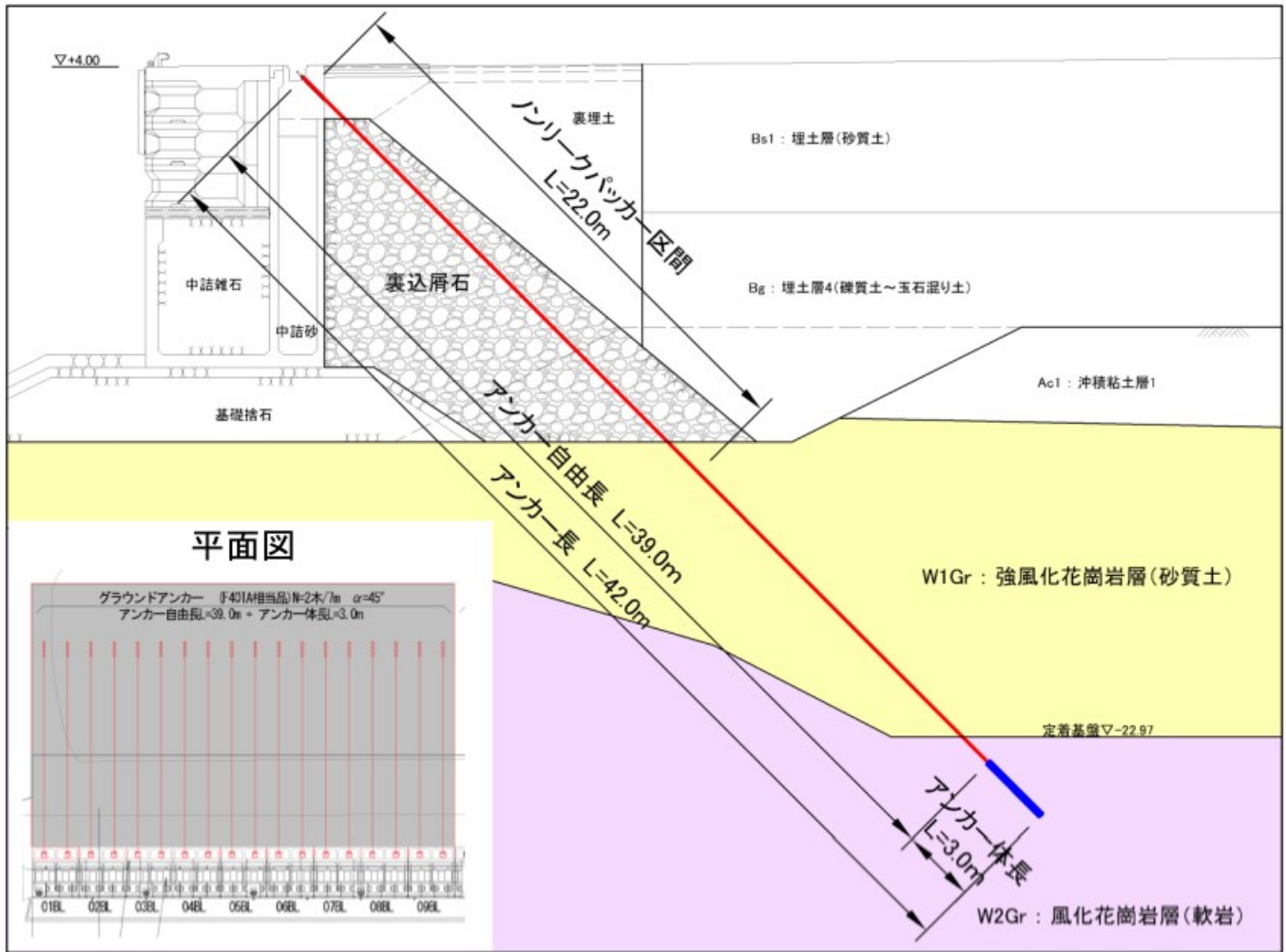
そこで、地震時における堤体の安定化を図るため、上部工に永久アンカー工法が採用されました。

岸壁背面には裏込屑石が詰められており、注入材が逸脱する恐れがあるため、裏込屑石区間（L=22.0m）にノンリークパッカーを取付けて逸脱防止処理を行いました。

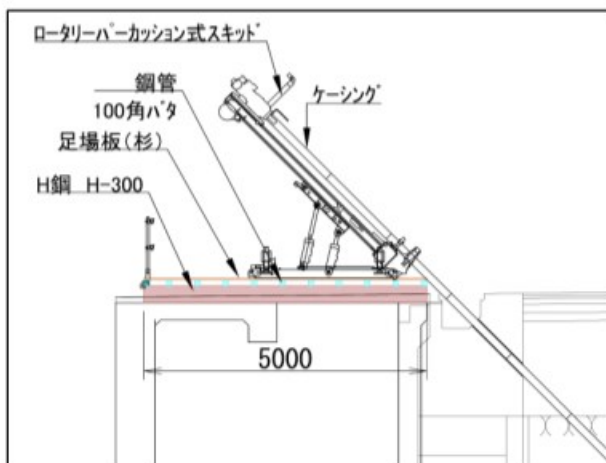
| 施 工 数 量     |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 施 工 本 数     | 18本                         |
| ア ン カ ー 延 長 | 757.4m                      |
| ア ン カ ー 長   | 42.0m<br>(自由長39.0m＋定着長3.0m) |
| 削 孔 径       | φ 135mm                     |
| ア ン カ ー 仕 様 | F40TA                       |



## 断面図



## 足場工



## 打設状況



国土交通省 九州地方整備局 唐津港湾事務所HPにて紹介されました。

唐津港予防保全事業(令和5年3月31日)

[https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/karatsu/video/files/20230526\\_douga\\_karatumyouken%20.mp4](https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/karatsu/video/files/20230526_douga_karatumyouken%20.mp4)

